

様式2 令和4年度新座市学校評価システム

自己評価書【 中間評価 】

新座市立 野火止小 学校

評価項目	No.	質問項目	評価の分布状況	評価ポイント (1～4点)	評価
			0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%		
独自	1	学校は、児童理解に努め、児童の特性に応じた支援・指導を行っている。		3.68	A
	2	学校は、研修意欲を高めながら、校内研修や公開授業を積極的に行っている。		3.52	A
	3	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。		3.80	A
組織運営	4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させ、組織的な運営・責任体制を整備するとともに、働き方改革に取り組んでいる。		3.44	A
	5	学校は学校経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて改善計画を考え学校経営を行っている。		3.72	A
	6	学校は、事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。		3.60	A
学力向上	7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。		3.52	A
	8	学校は、各教科の指導において「見方・考え方」を軸とした授業を展開し、資質・能力の3つの柱の育成に努めている。		3.40	A
	9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。		3.46	A
	10	学校は、カリキュラムマネジメントを推進し、society5.0を自在に生きる力を身につけた自動生徒の育成に努めている。		3.36	B
豊かな心の育成	11	学校は、児童生徒が友達や教職員・本校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いを実践したりできるよう指導している。		3.64	A
	12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。		3.64	A
	13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。		3.63	A
の健康上・体力	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。		3.48	A
	15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。		3.76	A
との保護者・協働・地域	16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。		3.76	A
	17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。		3.76	A
	18	学校は、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体化推進により、社会に開かれた教育課程の編成・実施を行っている。		3.72	A